



ユーザー ガイド

概要

このガイドでは、モニターの技術仕様や特長およびモニターの設置方法や使用方法について説明します。

目次

1 お使いになる前に.....	1
安全に関する重要な情報.....	1
製品の特長および各部.....	2
特長.....	2
背面の各部.....	3
2 モニターの設置	5
スタンドの取り付け.....	5
モニター本体の取り付け.....	6
モニター スタンドの取り外し.....	6
VESA 準拠のマウントキットの取り付け	6
ケーブルの接続.....	8
USB デバイスの接続（一部の製品のみ）	11
モニターの調整（一部の製品のみ）	11
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け.....	12
ヘッドフォンの保管.....	13
モニターの電源投入.....	13
3 モニターの使用	15
モニター ドライバーのダウンロード.....	15
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用	15
ディスプレイ モード.....	16
自動スリープモードの使用	16
スリープタイマーの使用	17
電源オフ タイマーの使用	17
外部ライトの使用.....	18
ゲーム用の高速応答時間の選択.....	18
ブルー ライトの発光の調整.....	19
HP Enhance+の使用	19
RGB ゲイン コントロールの使用	19
フレーム レートの表示.....	20
メッセージタイマーの使用	21
十字型カーソル機能の使用.....	22
マルチ モニターの配置の使用.....	22
サポートおよびトラブルシューティング.....	23
一般的な問題の解決方法.....	23

ボタンのロックアウト.....	24
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	24
お問い合わせになる前に.....	24
シリアル番号と製品番号の位置.....	24
4 モニターの保守	26
保守に関するガイドライン.....	26
モニターの清掃.....	26
モニターの運搬.....	27
付録 A 技術仕様	28
27 インチ（対角長 68.47 cm）モデルの仕様.....	28
プリセットディスプレイ解像度.....	29
31.5 インチ（対角長 80 cm）モデル	29
プリセットディスプレイ解像度.....	30
ユーザー モードの使用.....	31
電源の仕様.....	31
省電力機能.....	31
付録 B ユーザー サポート	33
HP とユーザー サポート	33
必要なテクノロジー ツールの確認.....	33
HP の取り組み	33
IAAP（International Association of Accessibility Professionals）	34
最適な支援技術の確認.....	34
ご自身のニーズの評価.....	34
HP 製品のユーザー サポート	34
標準および法令.....	35
標準.....	35
Mandate 376 – EN 301 549（欧州連合向け）	35
WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）	35
法令および規制.....	36
ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク	36
組織（英語のみ）	36
教育機関（英語のみ）	37
障がいに関するその他のリソース（英語のみ）	37
HP のリンク	37
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	37

1 お使いになる前に

この章では、安全に関する情報および HP が提供するさまざまな情報の入手方法などについて説明しています。

安全に関する重要な情報

外部電源アダプターおよび電源コードがモニターに付属している場合があります。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な電源コードについて詳しくは、『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- 安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- モニターへの外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、踏んだり、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、製品とともに提供されているユーザーガイドの中の『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

📌 重要： モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。すべての電源コードがサージ保護機能を提供しているわけではありません。この機能を備えた電源コードには、その旨を特別にラベル付けする必要があります。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いのモニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上にモニターを不用意に置いた場合、モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

📌 注記： この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。


製品の特長および各部

モニターは、優れた特長を備えています。このセクションでは、各部の詳細、位置、およびその機能について説明します。

特長


この製品は、画面の色が豊富に表示され、より良好な表示角度を提供する、IPS（In-Plane Switching）モニターです。この IPS モニターは、1 ミリ秒より早い応答時間を可能にするために 165 Hz のリフレッシュレートとペアリングされており、高画質を備えています。

この製品は、Adaptive-Sync テクノロジーである FreeSync™をサポートしており、G-SYNC™と互換性があります。ゲーム内のキャラクターや背景の動きなどがスムーズに表現されなかったり、止まったように見えたりする問題を減らすために、モニターのリフレッシュレートをグラフィックスカードのフレームレートに同期します。FreeSync 対応モニターとの互換性については、お使いのグラフィックスカードの製造元に問い合わせてください。

 **注記：** 参照されている仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。ネイティブの応答時間は 5 ミリ秒、オーバードライブ応答時間は 1 ミリ秒です。適切なリフレッシュレートは、ディスプレイによって異なります。

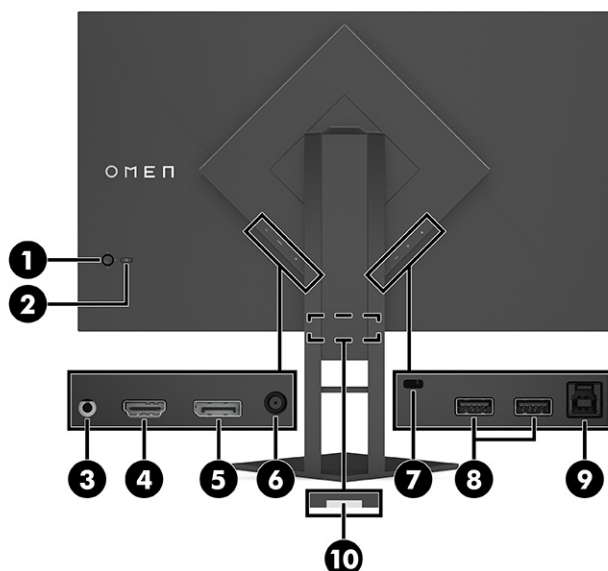
このモニターの特長は、以下のとおりです。

- 2560×1440 QHD 解像度をサポートする 27 インチ（対角長 68.5 cm）の表示領域
- DisplayPort 1.2 ビデオ入力×1
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）2.0 ビデオ入力×1
- USB 3.0 ダウンストリーム ポート×2
- USB Type-B アップストリーム ポート×1
- すべての入力で使用される HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）
- オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ
- HDMI、DisplayPort、および USB Type-A-USB Type-B の各ケーブルが付属
- プラグアンドプレイ機能（お使いのオペレーティングシステムでサポートされる場合）
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューによる画面調節機能（10 言語に対応）
- モニター画面に表示されるフレームレート（fps）インジケータ（OSD メニューで調節可能）
- モニター画面に表示されるメッセージタイマー（OSD メニューで調節可能）
- モニター画面に表示されるゲーム用十字型カーソル（OSD メニューで調節可能）
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル用のスロットをモニターの背面に装備
- フルレンジ LED を使用したユーザーが設定可能な外部ライト
- 便利なヘッドフォン保管フックをモニター スタンドに装備
- ディスプレイをスイングアームに取り付けるための VESA®準拠の取り付け機能（100×100 mm）

 **注記：** 安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。【ユーザーガイド】を選択します。

背面の各部

以下の図と表でモニターの背面の各部の位置と名称を確認してください。




 **注意：** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、入力デバイスの音量を調節してからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。

表 1-1 背面の各部とその説明

名称	説明
(1) オンスクリーンディスプレイ (OSD) ジョイスティック	OSD メニューを開いたり、メニューの項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりします
(2) 電源ボタン	モニターのオフ/オンを切り替えます
(3) オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	別売または市販のヘッドフォンを接続します
(4) HDMI 入力端子	コンピューターや据え置き型ゲーム専用機などの入力デバイスに HDMI ケーブルを接続します
(5) DisplayPort	コンピューターや据え置き型ゲーム専用機などの入力デバイスに DisplayPort ケーブルを接続します
(6) 電源コネクタ	外部電源アダプターを接続します
(7) セキュリティロックケーブル用スロット	別売のセキュリティロックケーブルを接続します
(8) USB SuperSpeed ポート (ダウンストリーム×2)	キーボード、マウス、USB ハードディスクドライブなどの周辺機器に USB ケーブルを接続します

表 1-1 背面の各部とその説明 (続き)

名称		説明
(9)	USB Type-B ポート (アップストリーム)	コンピューターや据え置き型ゲーム専用機などの入力デバイスに USB ハブケーブルを接続します
(10)	シリアル番号ラベル	シリアル番号ラベルの記載位置

2 モニターの設置

深刻な怪我やモニターの損傷を防ぐためには、モニターを正しく設置することが重要です。

⚠ 警告！ 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

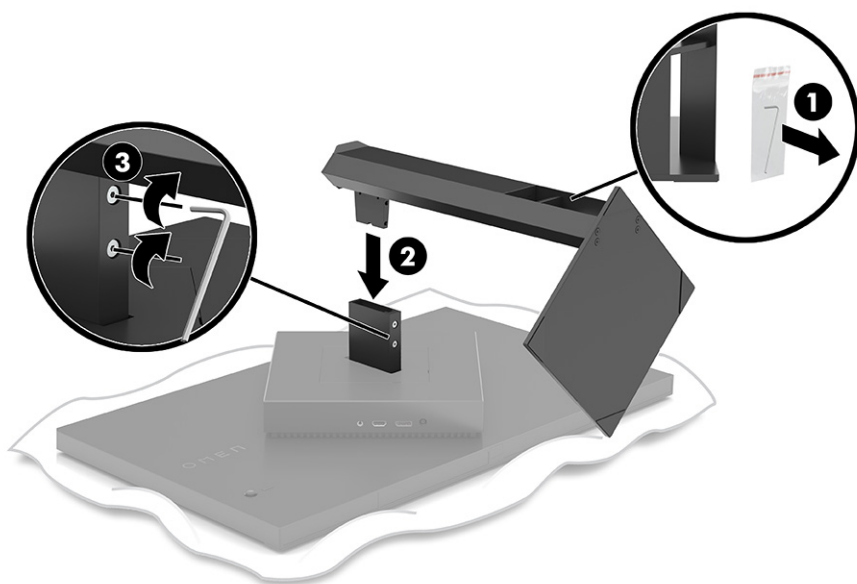
📎 重要： モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する可能性があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

📎 重要： 画面を傷つけたり、汚したりすることや、コントロール ボタンを損傷したりすることを防止するために、モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。

スタンドの取り付け

安全に使用するためには、モニター スタンドを正しく取り付けることが非常に重要になります。このセクションでは、スタンドの安全な取り付け方法について説明します。

1. モニターの前面を下向きにして、柔らかい清潔な布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. 小型の六角レンチが入っている袋をモニター スタンドの背面から取り外します (1)。スタンドのヒンジを、モニター本体の背面にあるヒンジ スロットに差し込み、押し下げて固定します (2)。スタンドのヒンジがスロットに正しく固定されると、カチッという音がします。付属の六角レンチを使用して、モニターのヒンジ スロットの下側にある 2 つのネジを締めます (3)。お使いになる前に、スタンドがモニター本体に正しく固定されていることを確認してください。



モニター本体の取り付け

モニター本体は、スイングアームまたはスタンドに取り付けることができます。

重要： このモニターは、VESA®準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。モニター本体に他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチ、長さ 10 mm のネジを 4 本使用してください。これより長いネジを使用すると、モニターが損傷する可能性があります。必ず、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることおよびモニターの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

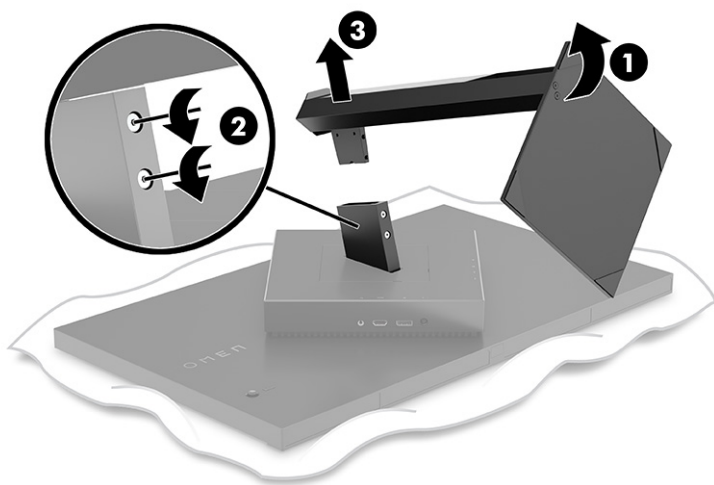
注記： この装置は、UL 準拠または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

モニター スタンドの取り外し

モニター本体からスタンドを取り外して、本体にスイングアームやその他の固定器具を取り付けることができます。


重要： モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていること、およびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. モニター スタンドの底面を上方向に傾け (1)、付属の六角レンチを使用してモニターのヒンジの下側にある 2 つのネジを緩めてから (2)、スタンドをスライドさせてモニター本体から取り外します (3)。

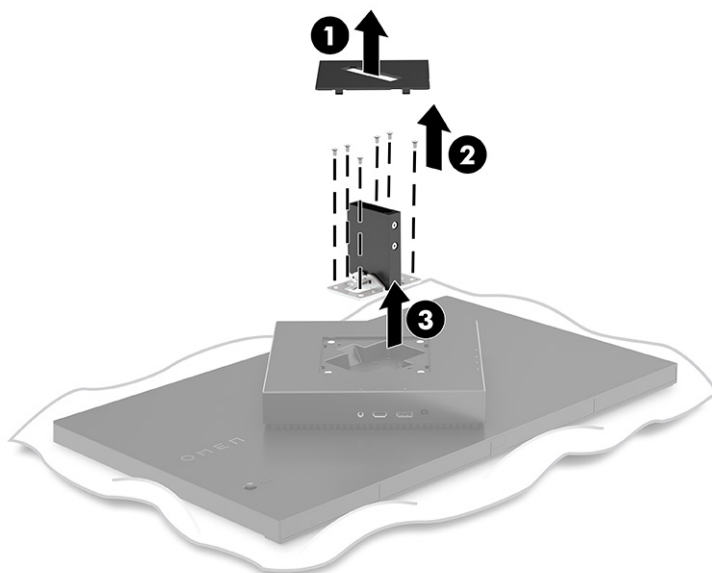


VESA 準拠のマウントキットの取り付け

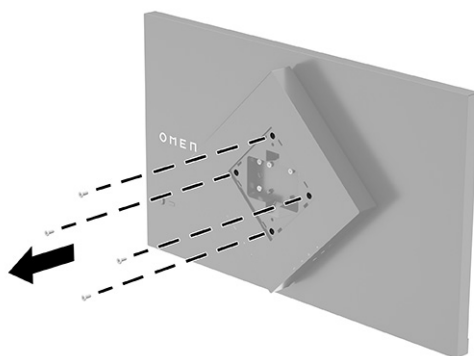
このディスプレイは、ほとんどの VESA マウントアームおよび VESA マウント（別売）に対応しています。VESA マウントは、100×100 mm の VESA 取り付け標準をサポートし、45 度回転できるものである必要があります。

 **注記：** 横型に設計されたモニターに対応させるため、このモニター用には回転機能を備えた VESA マウント アダプターが装備されたスイング アームを使用する必要があります。

1. モニター スタンドが取り付けられている場合は取り外します。を参照してください。 [6 ページの「モニター スタンドの取り外し」](#)
2. マイナスドライバーを使用してモニターの背面にある VESA カバーを開け、VESA カバーを取り外します (1)。
3. ドライバーを使用して、ヒンジを所定の位置に固定している 6 つのネジを取り外し (2)、ヒンジを取り外します (3)。

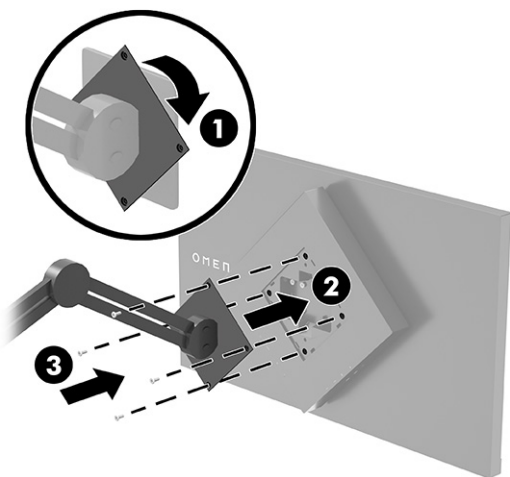


4. モニターの背面から 4 つの VESA ネジを取り外します。これらのネジは、手順 6 のマウント器具を取り付ける操作で使います。



5. モニターにマウントキットを取り付ける前に、スイングアーム側で VESA マウントキットを 45 度回転させ (1)、ネジ穴がモニター背面のネジ穴に合うようにします。
6. VESA マウントキットを 45 度回転させた状態で、モニター本体の背面にあるスロットに VESA マウントキットをはめ込みます (2)。次に、マウントキットをモニター本体に固定してネジを締

めます(3)。使用する前に、マウントキットがモニター本体に正しく固定されていることを確認します。

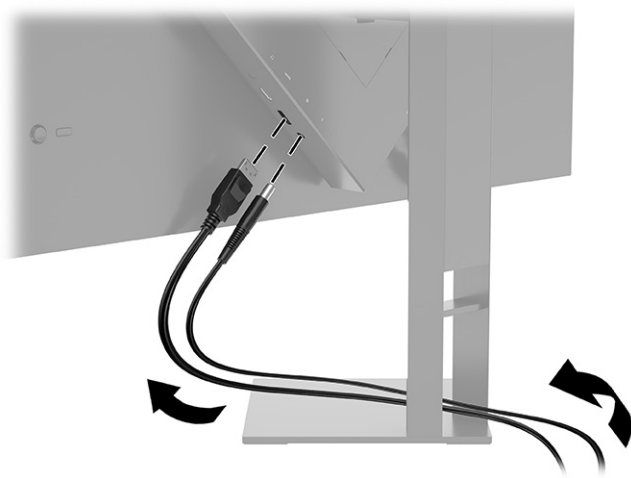


ケーブルの接続


このセクションでは、詳細なケーブルの接続方法に加えて、特定のケーブルの接続時にモニターがどのように機能するかについても説明します。


 **注記：** モニターには一部のケーブルが付属しています。

1. モニターを、コンピューターまたは入力デバイスの近くの、作業がしやすく通気の良い場所に置きます。
2. ケーブルを接続する前に、ケーブルをモニター背面のケーブル管理ガイドに通しておきます。

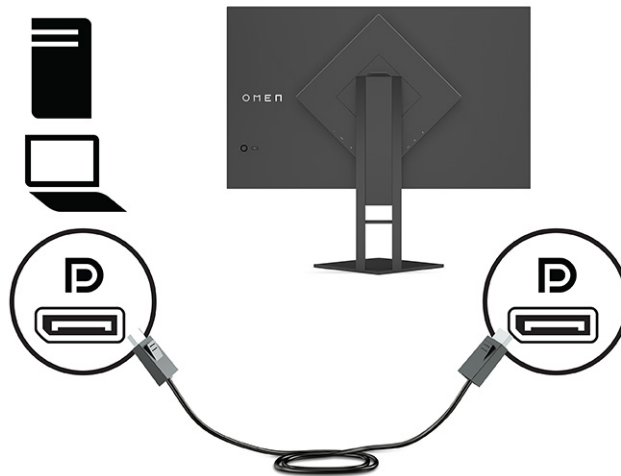


3. ビデオケーブルを接続します。

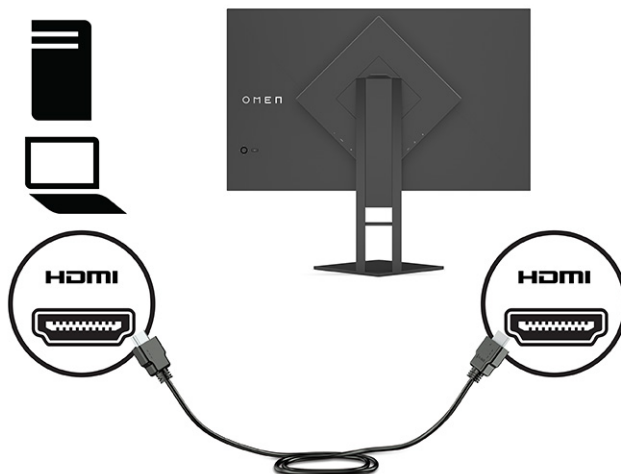
 **重要：** 同時に複数のビデオ ケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1 種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記：** 入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、【メニュー】ボタンを押し、【入力】を選択します。DisplayPort は、最適なパフォーマンスを実現するための推奨される接続の種類です。

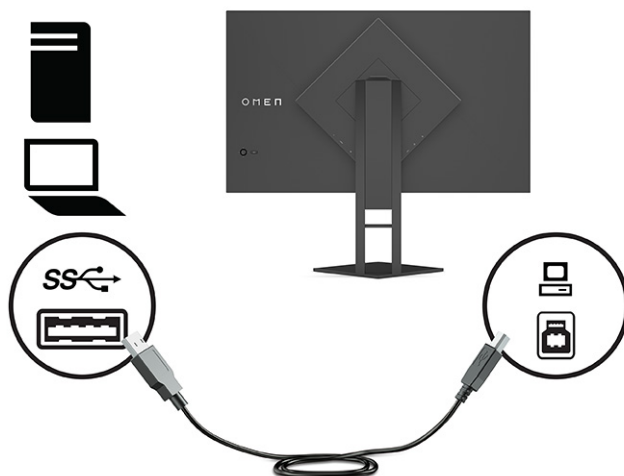
- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。




- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。




4. USB アップストリーム ケーブルの Type-B コネクタをモニターの背面の USB Type-B アップストリーム ポートに接続してから、ケーブルの Type-A コネクタを入力デバイスの USB Type-A ダウンストリーム ポートに接続します。



 **注記：** モニターの USB Type-A ダウンストリーム ポートを有効にするには、USB Type-B アップストリーム ケーブルを入力デバイス（コンピューター、ノートブック コンピューター、据え置き型ゲーム専用機）からモニターの背面に接続する必要があります。詳しくは、[11 ページの「USB デバイスの接続（一部の製品のみ）」](#)を参照してください。

5. 電源コードの一方の端を外部電源アダプターに接続し（1）、もう一方の端をアース（接地）された電源コンセントに差し込みます（2）。次に、外部電源アダプターをモニターの電源コネクタに接続します（3）。

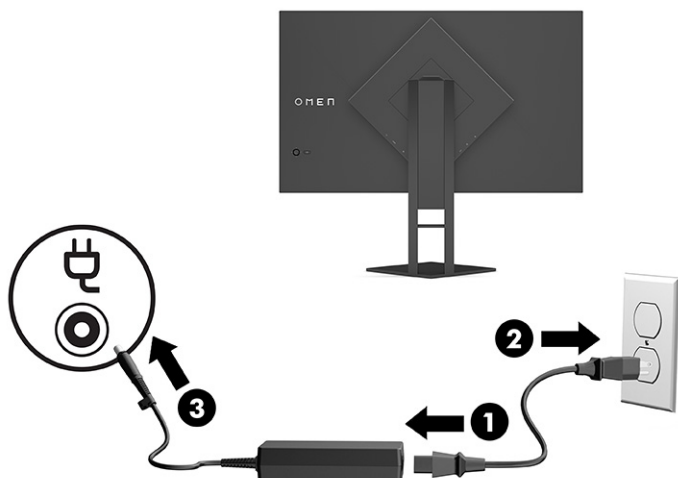
 **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

製品への外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

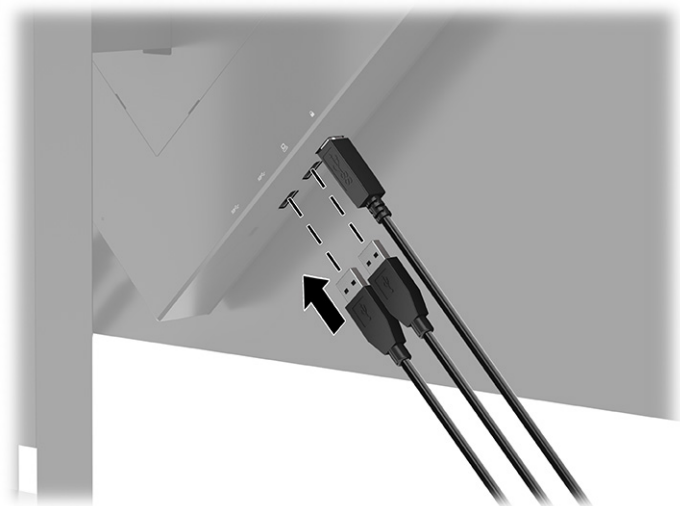
安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っばらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。



USB デバイスの接続（一部の製品のみ）

モニターの背面には 1 つの USB Type-B アップストリーム ポートおよび 2 つの USB Type-A ダウンストリーム ポートが装備されています。

注記： モニターの USB Type-A ダウンストリーム ポートを有効にするには、USB Type-B アップストリーム ケーブルを入力デバイスからモニターに接続する必要があります。

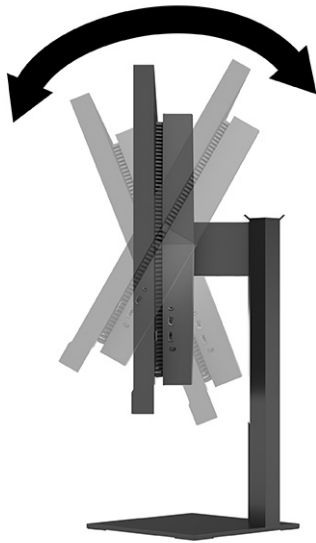


モニターの調整（一部の製品のみ）

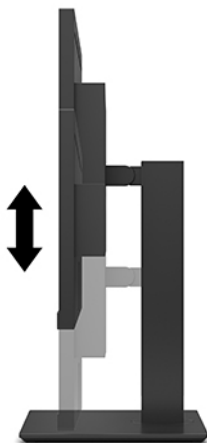
モニターには、人間工学的に適した作業スペースにするために、このセクションで説明されている調整オプションが用意されています。

警告！ 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

1. モニター本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。

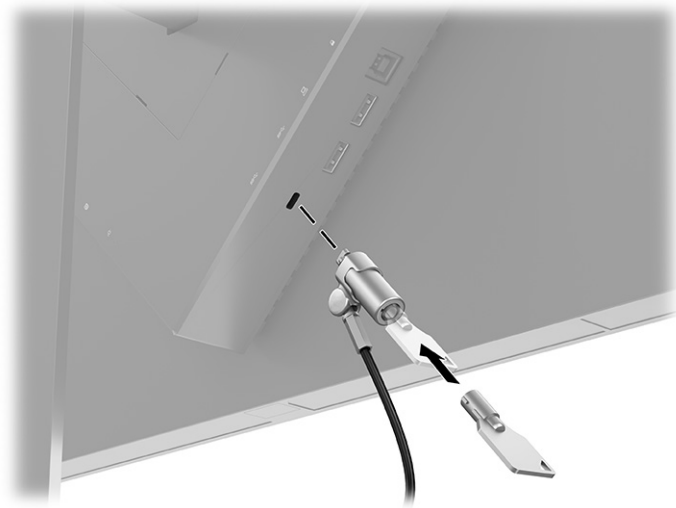


2. モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニター パネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクトレンズなどを使用している場合は、モニターの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニターの位置も調整しなおします。



セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

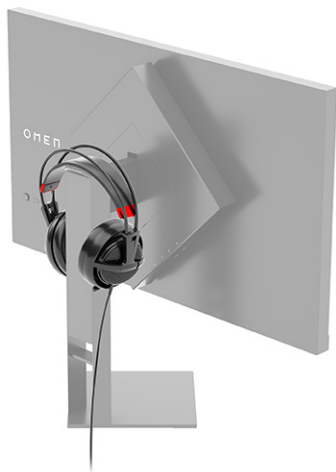
別売のセキュリティ ロック ケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。ロックの取り付けおよび取り外しには、付属の鍵を使用します。



ヘッドフォンの保管


ヘッドフォンはモニター上で保存できます。


モニターのスタンドの上部には、ヘッドフォンを保管するための便利なヘッドフォンフックが付いています。




モニターの電源投入

このセクションでは、モニターの損傷の予防方法と起動インジケータに関する重要な情報、およびトラブルシューティング情報について説明します。

-  **重要：** モニターの画面に 12 時間以上同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性があります、一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

 **注記：** 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

 **注記：** 一部の HP 製モニターでは、電源ランプはオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで無効にできます。メニューボタンを押して OSD を開き、**[電源]→[電源ランプ]→[オフ]**の順に選択します。

▲ モニターの電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



初めてモニターの電源を入れると、モニター ステータス メッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブな信号の入力、ソース自動切り替え設定のステータス（オンまたはオフ、初期設定はオン）、現在のプリセット ディスプレイ 解像度、および推奨されるプリセット ディスプレイ 解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画面を表示します。

3 モニターの使用

この章では、モニターとその機能の使用方法について説明します。

モニター ドライバーのダウンロード

モニターの INF（情報）ドライバー ファイルをダウンロードしてインストールできます。

このモニターはプラグ アンド プレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグ アンド プレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファや分配ボックスを通して接続されている場合、プラグ アンド プレイ機能は利用できません。

- INF（情報）ファイル

1. HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスします。
2. [ソフトウェアとドライバー]または[ソフトウェア/ドライバー]を選択します。
3. 製品の種類を選択します。
4. お使いの HP モニターのモデルを検索フィールドに入力し、画面の説明に沿って操作します。

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用

HP のモニターは望みどおりに調整することができます。OSD メニューを使用すると、モニターの表示機能をカスタマイズできます。

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを使用して、好みに応じてモニターの画面表示を調整します。モニターのリア パネルにある OSD ジョイスティックを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、リア パネルにある OSD ジョイスティックの中心を押します。
3. ジョイスティックを上下左右に動かすと、メニュー項目間を移動できます。ジョイスティックの中心を押すと、選択できます。

以下の表に、OSD メイン メニューの考えられるメニュー項目を示します。ここには、各設定の説明とモニターの外観またはパフォーマンスへの影響を記載しています。

表 3-1 ボタンおよびコントローラーを使用するための OSD メニュー オプションおよび説明（一部の製品のみ）

メイン メニュー	説明
ゲーム	ボタンまたはコントローラー：Adaptive-Sync、応答時間、フレーム レート、メッセージタイマー、十字型カーソル、周辺光照明、マルチ モニターの配置などのゲームの設定を選択および調整します

**表 3-1 ボタンおよびコントローラーを使用するための OSD メニュー オプションおよび説明（一部の製品のみ）
(続き)**

メイン メニュー	説明
輝度	ボタン：画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期設定は 90 です
コントラスト	ボタン：画面のコントラストレベルを調整します。工場出荷時の初期設定は 80 です
色	ボタン：画面の色を選択および調整します コントローラー：さまざまな表示状況に応じてモニターを設定する各種のカラー プリセットを提供します
入力	ビデオ入力信号（DisplayPort または HDMI）を選択します
イメージ	ボタン：画像を調整します コントローラー：輝度、コントラスト、ダイナミック コントラスト、ガンマ、シャープネス、イメージのスケーリングなどの画面表示を調整します
電源	電源設定を調整します
メニュー	OSD メニューおよび機能ボタンのコントロールを調整します
マネージメント	ボタン：DDC/CI の設定を調整したり、OSD メニューを表示する言語（工場出荷時の初期設定では英語）を選択したり、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻したりします コントローラー：すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します
情報	モニターに関する重要な情報を表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

ディスプレイ モード

モニターの電源を入れると、ステータスメッセージにディスプレイ モードが表示されます。また、ビデオ入力を変更したときもディスプレイ モードが表示されます。

モニターのディスプレイ モードは、モニターの電源が入ったときとビデオ入力に変更されたときに表示されるモニター ステータスメッセージで報告されます。現在のディスプレイ モードは、**【情報】**メニュー ウィンドウ、およびオンスクリーンディスプレイ（OSD）メイン メニューの下のステータスバー領域に表示されます。動作モードは、**【標準】**、**【Adaptive-Sync】**または**【FreeSync】**です。

[Adaptive-Sync]または[FreeSync]モードをオンにするには、以下の操作を行います。

1. OSD コントローラーの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. OSD で、**【ゲーム】**を選択します。
3. **【Adaptive-Sync】**→**【オン】**の順に選択します。



注記： 初期設定では、[Adaptive-Sync]および[FreeSync]は[オン]になっています。

自動スリープ モードの使用

モニターには、自動スリープ モード（省電力状態）と呼ばれる省電力機能が搭載されています。このセクションでは、モニターの自動スリープ モードを有効化または調整する方法について説明します。

このモニターは、自動スリープモードを設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合（初期設定では有効）、コンピューターから低電力モードの信号（水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態）を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態（自動スリープモード）になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。コンピューターからアクティブな信号を受け取ると（ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など）、モニターは自動スリープモードから復帰します。

OSD で自動スリープモードを無効にするには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. OSD で、**【電源】**を選択します。
3. **【自動スリープモード】→【オフ】**の順に選択します。

スリープタイマーの使用

スリープタイマーにより、モニターがスリープ状態になるタイミングを設定することができます。

[Sleep Timer]（スリープタイマー）メニューを使用すると、ユーザーによって選択可能な所定の時刻にモニターが省電源またはスリープ状態になったり、省電源またはスリープ状態から復帰したりするように設定できます。たとえば、モニターが午後 5 時に自動的にスリープモードになり、午前 8 時に自動的にスリープモードから復帰するように設定できます。モニターがスリープモードになると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

電源オフタイマーがアクティブになっている場合、スリープタイマーは無効です。

スリープタイマーを使用するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **【電源】**を選択します。
3. **【Sleep Timer】→【オン】**の順に選択します。
4. モニターがスリープモードになる時刻およびスリープモードから復帰する時刻を設定します。

電源オフタイマーの使用

電源オフタイマー機能を使用すると、モニターの電源をオンまたはオフにする時刻をプログラムすることができます。

スリープタイマーが有効になっている場合、電源オフタイマーは無効です。

[Power-Off Timer]（電源オフタイマー）メニューを使用すると、ユーザーによって選択可能な所定の時刻にモニターの電源が自動的にオフになるように設定できます。たとえば、午前中にモニターの電源を手動でオンにし、午後 6 時にモニターの電源が自動的にオフになるように設定できます。

電源オフタイマーをオンにするには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **【電源】**を選択します。

3. **[Power-Off Timer]→[オン]**の順に選択します。
4. モニターの電源をオフにする時刻を設定します。

外部ライトの使用

外部ライト機能を使用すると、デスクトップまたは壁を照らしてゲーム体験を向上させることができます。

このモニターには、デスクトップまたは壁を照らしてゲーム体験を向上させる外部ライトが装備されています。オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューまたは[OMEN Command Center]で、外部ライトの色や明るさを調整したり、外部ライトを消したりできます。外部ライトには、2つの独立したコントロールゾーンがあり、周辺光照明は壁を照らすモニター背面の照明を制御し、ボトムライトはデスクトップを照らすモニタースタンドの照明を制御します。

外部ライトを調整するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **[ゲーム]→[外部ライト]**の順に選択します。
3. 周辺光照明またはボトムライトの設定を選択します。

[周辺光照明]（壁の照明）および**[ボトムライト]**（デスクトップの照明）：

- **[オフ]**：外部ライトを切ります。
- **[タスクライト]**：読書や視聴がしやすくなるように調整可能な白色のデスクライトをエミュレートする全白輝度設定。
- **[カラーサイクル]**：すべてのシングルカラープリセットがゆっくりとフェードインまたはフェードアウトします。
- **[ブリージング]**：ゆっくりと明るくなったり暗くなったりします。速度には、低速、中、および高速の3つの設定があります。色は、シングルカラーメニューで選択されている色によって決まります。
- **[カラーサイクル]**：すべてのシングルカラープリセットがゆっくりとフェードインまたはフェードアウトします。
- **[シングルカラー]**：外部ライトの色を赤、緑、青、黄、紫、シアン、オレンジ、またはカスタムに設定します。
- **[ランプの明るさ]**：外部ライトの明るさを調整します。
- **[すべてのゾーンに適用]**：このゾーンの設定を、モニターの他のすべての外部ライトゾーンに適用します。
- **[周辺光ゾーンのコピー]**：周辺光の設定をコピーしてこのゾーンに適用します。
- **[オフ]**：外部ボトムライトを切ります。

ゲーム用の高速応答時間の選択

この機能によりゲーム用の高速応答時間を選択できます。

応答時間の初期設定は、ゲームのプレイに合わせて最適化されています。以下の性能仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

応答時間を高速に設定するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **[ゲーム]**→**[応答時間]**の順に選択します。
3. 調整レベルを切り替えて、応答時間を長くしたり短くしたりします。

ブルー ライトの発光の調整

モニターのブルー ライトの発光を減らすと、ブルー ライトによる目の疲労が軽減されます。このモニターでは、ブルー ライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを読むときの刺激を低減する設定を選択できます。

見やすくなるようにモニターのライトを調整するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **[色]**を選択します。
3. 目の快適性を高めるには、**[低ブルー ライト]**（TÜV 認定済み）を選択します。

HP Enhance+の使用

[HP Enhance+]機能を使用すると、静止画像と動画の両方の画質を高めることができます。

[HP Enhance+]カラー サブメニューは、静止画像や動画に詳細レベル（シャープネスおよびコントラスト）を追加して、それらの画質を高めます。ユーザーによって選択可能な3つのオプションは、[Low]（低）、[Medium]（中）、および[High]（高）です。初期設定は、[Medium]です。

[HP Enhance+]を有効にするには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **[色]**→**[HP Enhance+]**の順に選択します。
3. **[Low]**、**[Medium]**、または**[High]**を選択します。

RGB ゲイン コントロールの使用

RGB ゲイン コントロールを使用すると、色温度を調整できます。

メニューを終了すると、RGB カラー設定が自動的に保存されます。

RGB ゲイン コントロールを使用すると、一部のカラー プリセットの色温度を手動で調整して、選択したカラー プリセットを調整可能なユーザー モードにできます。調整はカラー プリセットごとに別々に保存されます。

色温度を調整するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。

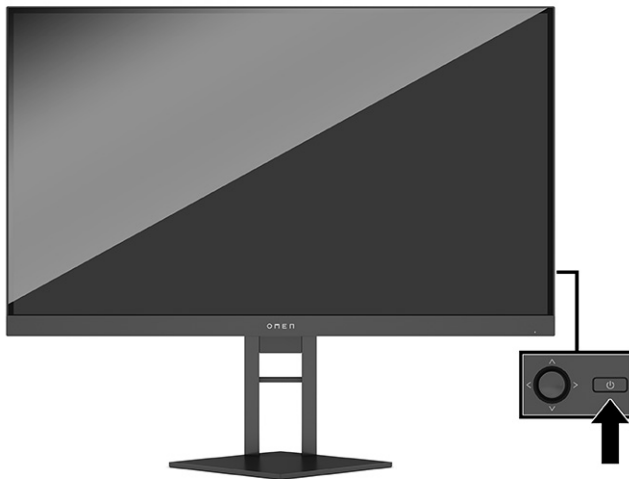
2. **【色】**を選択します。
3. **【RGB ゲイン コントロール】**を選択します。
4. **【Red Color ADJ SCALE GRAPHIC】**（赤色スケール調整グラフィックス）、**【Green Color ADJ SCALE GRAPHIC】**（緑色スケール調整グラフィックス）、または**【Blue Color ADJ SCALE GRAPHIC】**（青色スケール調整グラフィックス）を選択して調整を行います。

フレームレートの表示

フレームレート機能を使用すると、1秒あたりの現在アクティブな入力フレーム数（fps）を確認できます。

フレームレート機能をオンにすると、1秒あたりの現在アクティブな入力フレーム数（fps）を表示できます。フレームレート機能をオンにすると、1秒あたりの現在アクティブな入力フレーム数（fps）が、画面の1つのセクションに表示されます。fps テキストの色および画面上の位置は、**【色】**および**【位置】**のサブメニューから選択できます。

fps を画面に表示するには、以下の操作を行います。



1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **【ゲーム】**を選択します。
3. **【Frame Rate】**（フレーム レート）→**【オン】**の順に選択します。
4. 画面に表示される fps の色および位置を設定します。
 - **【タスク ライト】**：読書や視聴がしやすくなるように白色のデスク ライトをエミュレートする全白輝度設定。
 - **【カラー サイクル】**：すべてのシングル カラー プリセットがゆっくりとフェードインまたはフェードアウトします。
 - **【ブリージング】**：ゆっくりと明るくなったり暗くなったりします。速度には、低速、中、および高速の3つの設定があります。色は、シングル カラー メニューで選択されている色によって決まります。

- **[シングルカラー]**: 外部ライトの色を赤、緑、青、黄、紫、シアン、オレンジ、またはカスタムに設定します。
- **[ランダムカラー]**: シングルカラーをランダムに循環させて外部ライトの色を変えます。
- **[ランプの明るさ]**: 外部ライトの明るさを調整します。

外部ライトは初期設定でオン（OMEN White（OMEN ホワイト））に設定されています。

メッセージタイマーの使用

メッセージタイマーには、リマインダーとメッセージを表示するためのタイマーが表示されます。

メッセージタイマーを使用するには、以下の操作を行います。

[Message Timer]（メッセージタイマー）メニューには、プリセットのリマインダーおよび情報メッセージを表示する2種類のタイマーがあります。タイマーのメニューには、[オン]/[オフ]オプションと、[開始]、[停止]、および[リセット]の各コントロールがあります。[オン]を選択すると、現在選択されている画面上の位置に現在選択されているタイマーの値が表示されます。初期設定は右上隅です。

メッセージが表示されるようにタイマーの設定をすることで、未成年のゲームプレイやその他のオンライン操作を制限できるペアレンタルコントロールとして、メッセージタイマーを使用できます。30分が経過すると、モニターに「ゲームのプレイを停止してください!」と表示させることができます。

画面上のタイマーの形式は最初、分および秒（00:0）で表示されますが、時間の経過とともに時間も表示されます。メッセージタイマーには2つの異なるオプションがありますが、一度に選択できるタイマーは1つ（スピードランまたはカウントダウン）のみです。どちらのタイマーのオプションにも、タイマーの数字の色とタイマーの画面上の位置が含まれています。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **[ゲーム]**→**[Message Timer]**の順に選択します。
3. 以下のオプションを使用してタイマーを選択および調整します。
 - **[スピードランタイマー]**: これは分および秒（00:0）を示すプログレスタイマーです。ゼロから始まり、24時間になるまで続きます。タイマーが24時間の制限時間に達すると、タイマーの期限が切れたことを知らせるメッセージが20秒間表示されます。このタイマーにより、ゲームや特定のタスクの実行に費やした時間を追跡できます。
 - **[カウントダウンタイマー]**: 調整バーを使用すると、開始時間を1~45分（1分単位）の間で選択し、次に5~120分（5分単位）の間で選択できます。タイマーが00:0までカウントダウンした後、画面の中央にメッセージが20秒間表示されます。[メッセージ]サブメニューにより、画面に表示される正確なメッセージを選択できます。カウントダウンタイマーの初期設定値は20分です。
 - **[開始]**: 選択されたタイマーを開始します。
 - **[停止]**: タイマーを一時停止または停止しますが、タイマーのリセットは行いません。[開始]オプションを再度選択すると、タイマーカウンターが続行されます。
 - **[タイマーのリセット]**: タイマーカウンターを選択された開始値にリセットします。読書や視聴がしやすくなるように白色のデスクライトをエミュレートする全白輝度設定。

- 選択されたタイマーの期限が切れるときに画面上に表示されるメッセージを選択できます。
「Your Gaming Timer has Expired!」（ゲームのタイマーが切れました！）、
「Please Stop Playing the Game!」（ゲームのプレイを停止してください！）、
「Please Take a Break!」（休憩を取ってください！）、
「Please Shutdown the Computer!」（コンピュータをシャットダウンしてください！）
の中からメッセージを選択できます。

十字型カーソル機能の使用

十字型カーソル機能を使用すると、OSD ポインターを制御できます。

[Crosshair]（十字型カーソル）メニューでは、ゲームをプレイするときの精度を向上させるために、以下のサブメニューから、モニターで制御されているオンスクリーンディスプレイ（OSD）ポインターの各種特性をカスタマイズできます。

[Crosshair]オプションを使用するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. OSD で、**【ゲーム】**を選択します。
3. **【Crosshair】→【オン】**の順に選択します。
4. 以下のサブメニューを使用して十字型カーソルを設定します。
 - **【設定】**：表示するオプションの横にあるチェックボックスにチェックを入れることによって、画面に表示される十字型またはポインターを構成する個々のグラフィックスパーツを選択します。複数のオプションを組み合わせ、カスタマイズした独自の十字型カーソルを作成できます。
 - **【色】**：画面上の十字型カーソルの色を選択できます。
 - **【位置】**：画面上の十字型カーソルの位置を選択できます。

マルチ モニターの配置の使用

マルチ モニターの配置機能を使用すると、複数のモニターを並べてセットアップすることができます。

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）の[マルチ モニターの配置]オプションでは、複数のモニターを並べてセットアップする場合に役立つ全画面の配置パターンが表示されます。このオプションを選択すると、OSD が終了して、配置パターンが全画面で表示されます。

[マルチ モニターの配置]を使用するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **【ゲーム】**を選択します。
3. **【マルチ モニターの配置】→【オン】**の順に選択します。
4. OSD ジョイスティックの中心を再度押すと、パターンを終了できます。

サポートおよびトラブルシューティング

モニターが正常に動作しない場合、このセクションの手順に従うことで、問題を解決できる可能性があります。

一般的な問題の解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

表 3-2 一般的なトラブルおよび解決方法


問題	考えられる原因	解決方法
画面に何も表示されないか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニターの電源が切れている	モニターの電源ボタンを押します。 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが正しく接続されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 8 ページの「ケーブルの接続」 を参照してください
	システムが自動スリープモードになっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
	ビデオカードに互換性がない	オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを開いて、 [入力] メニューを選択します。 [自動切替入力] を [オフ] に設定し、手動で入力を選択します または ビデオカードを交換するか、コンピューターに搭載されているビデオソースのどれかにビデオケーブルを接続します
	複数のビデオケーブルを接続している	使用しないビデオケーブルを取り外します
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度設定が低すぎる	OSD メニューを開いて [輝度] を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します。
[Input Signal Not Found]（入力信号が見つかりません）というメッセージが画面に表示される	モニターのビデオケーブルが外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range]（入力信号が範囲外）というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	設定値をサポートされている値に変更します（詳しくは、 30 ページの「プリセットディスプレイ解像度」 を参照してください）
モニターが省電力スリープ状態にならない	モニターの省電力機能が無効になっている	OSD メニューを開き、 [電源] → [自動スリープモード] → [オン] の順に選択します
[OSD Lockout]（OSD ロックアウト）というメッセージが画面に表示される	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている	OSD ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD のロックアウト機能を無効にします
[Power Button Lockout]（電源ボタンのロックアウト）というメッセージが画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源 ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します

ボタンのロックアウト

ボタンのロックアウト機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが閉じている場合にのみ使用できます。電源ボタンまたは OSD ジョイスティックの中心を 10 秒程度押し続けると、そのボタンが無効になります。ボタンを再度有効にするには、もう一度 10 秒間押し続けます。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

 **注記：** モニターに付属している電源コード、外部電源アダプター（一部の製品のみ）、またはその他のケーブルを交換する場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。

お問い合わせになる前に

ここには、HP のサポート窓口にお問い合わせをいただく場合のガイドラインをいくつか示しています。

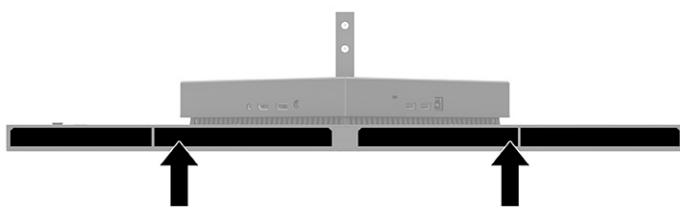
トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

1. モニターのモデル番号
2. モニターのシリアル番号
3. 購入年月日および購入店名
4. 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
5. 表示されたエラー メッセージ
6. ハードウェア構成
7. 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン
8. メールアドレス

シリアル番号と製品番号の位置

サポート窓口にお問い合わせになるときは、シリアル番号と製品番号を確認しておくことが重要です。

シリアル番号および製品番号は、製品によって、モニターの背面にあるラベルまたはモニター本体のフロントパネルの下側にあるラベルに記載されています。お使いのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。




4 モニターの保守

モニターを正しくメンテナンスすることで、何年にもわたって使用することができます。ここでは、モニターを最適な状態に保つために実施できる手順について説明します。

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下の手順に従ってください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター背面のラベルまたは銘板に記載された条件に適合するもののみを使用してください。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- 使用していないときにはモニターの電源を切るようにして、スクリーンセーバー プログラムを使用してください。これにより、モニターの寿命が大幅に伸びる場合があります。

 **注記：** モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。


- キャビネットのスロットや開口部をふさいだり、その中に異物を押し込んだりしないでください。これらの開口部によって通気が確保されます。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。


モニターの清掃

必要に応じて、以下の手順に従ってモニターを清掃してください。

1. モニターの電源を切り、電源コンセントから電源コードを抜きます。
2. すべての外付けデバイスを取り外します。
3. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。

4. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 の割合で混合した溶液を使用します。

 **重要：** ベンゼン、シンナー、およびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

 **重要：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。布はあまり濡らさず、軽く湿らせた状態で使用してください。通気孔またはその他の開口部に水が入ると、モニターの損傷の原因になる可能性があります。モニターは、使用する前に自然乾燥させます。

5. 汚れやごみを取り除いた後、消毒液で表面を清掃することもできます。世界保健機関（WHO）では、ウィルス性呼吸器疾患および有害なバクテリアの蔓延を防止するための最良の方法として、表面の清掃の後に消毒を行うことを推奨しています。HP のクリーニングガイドラインで取り上げられている消毒薬は、イソプロピルアルコール 70%、水 30% のアルコール溶液です。この溶液は、消毒用アルコールとも呼ばれ、ほとんどの店舗で販売されています。イソプロピルアルコールは保管および使用上の注意を守ってお使いください。

モニターの運搬

モニター出荷時の梱包箱および緩衝材を保管場所で保管してください。またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

A 技術仕様

このセクションでは、重量や表示サイズなど、モニターの物理側面の技術仕様に加えて、必要な動作環境条件と電源の範囲について説明します。

以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。



注記： この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニター モデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

27 インチ（対角長 68.5 cm）モデルの仕様

このセクションでは、モニターの仕様について説明します。

表 A-1 技術仕様

仕様	測定値
ディスプレイ、ワイドスクリーン	27インチ（68.5 cm）
パネルの種類	IPS
表示画像サイズ	68.5 cm/27インチ（対角方向）
表示角度	170/160 度
傾斜角度	-5 ~ 20 度
高さ調節	0 ~ 130 mm
最大質量（非梱包時、スタンドあり）	10.3 kg
寸法（スタンドを含む）	
奥行き	25.7 cm
高さ（最も高い位置のとき）	52.2 cm
幅	61.3 cm
最大グラフィックス解像度	2560×1440（165 Hz）（DP）/2560×1440（144 Hz）（HDMI）
静的コントラスト比	1000:1（通常）
動的コントラスト比	10,000,000:1
ピクセル ピッチ	0.2331 mm×0.2331 mm
ピクセル密度（Pixels Per Inch）	109
バックライトの種類	水銀フリー LED
OD 機能による応答時間	バックライト 1 ミリ秒 GTG*
環境条件 動作保証温度	

表 A-1 技術仕様 (続き)

仕様	測定値
動作温度	5 ~ 35°C
保管温度	-34 ~ 60°C
保管湿度	5 ~ 95%
動作湿度	20 ~ 80%
電源	100 ~ 240 V AC、50/60 Hz
消費電力 (最大)	75 W
消費電力 (通常)	50 W
省電力/スタンバイモード	0.5 W
電源アダプター	90 W
入力端子	HDMI 入力端子×1、DisplayPort×1

* 表示されている仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。ネイティブの応答時間は 5 ミリ秒、オーバードライブ応答時間は 1 ミリ秒です。

プリセットディスプレイ解像度

以下のディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

31.5 インチ (対角長 80 cm) モデル

このセクションには、プリセットディスプレイ解像度とプリセットタイミング解像度を示します。

表 A-2 プリセットディスプレイ解像度

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.469	59.940
2	720×400	31.469	70.087
3	800×600	37.879	60.317
4	1024×768	48.363	60.004
5	1280×720	45.000	60.000
6	1280×800	49.702	59.810
7	1280×1024	63.981	60.020
8	1440×900	55.935	59.887
9	1600×900	60.000	60.000
10	1600×1200	75.000	60.000

表 A-2 プリセットディスプレイ解像度 (続き)

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
11	1680×1050	65.290	59.954
12	1920×1080	67.500	60.000
13	1920×1200	74.038	59.950
14	2560×1440	88.787	59.951

表 A-3 プリセットタイミング解像度

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	480i	720×480	15.734	60
2	480p	720×480	31.469	60
3	576i	720×576	15.625	50
4	576p	720×576	31.250	50
5	720p50	1280×720	37.500	50
6	720p60	1280×720	45.000	60
7	1080i60	1920×1080	33.750	60
8	1080p60	1920×1080	67.500	60
9	1080i50	1920×1080	28.125	50
10	1080p50	1920×1080	56.250	50

プリセットディスプレイ解像度

以下のディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

表 A-4 プリセットディスプレイ解像度

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	60.0	60.000
2	720×400	70.0	70.087
3	800×600	37.879	60.317
4	1024×768	31.469	60.000
5	1280×720	45.000	60.000
6	1280×800	49.702	60.000
7	1280×1024	63.981	60.000
8	1440×900	55.468	60.000
9	1600×900	60.000	60.000

表 A-4 プリセットディスプレイ解像度 (続き)

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
10	1600×1200	65.290	60.000
11	1680×1050	60.000	60.000
12	1920×1080	67.500	60.000
13	1920×1200	67.500	60.000
14	2560×1440	60.000	60.000

ユーザー モードの使用

ビデオ コントローラーから送られてくる信号がプリセット モードと一致しないことがあります。

標準のグラフィックス アダプターを使用していない場合またはプリセット モードを使用していない場合、ビデオ コントローラーから送られてくる信号が使用中のモードと一致しないことがあります。

このような場合、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセット モードと同様に自動的に認識されます。プリセット モードの他に、8 以上のユーザー モードを新しく登録して保存できます。

電源の仕様

このセクションでは、電源の仕様について説明します。

表 A-5 電源の仕様


製造元	モデル番号	電源電圧
Delta	TPC-DA18	19 V DC (4.62 A、90 W の場合)
Chicony	TPC-CA18	19 V DC (4.62 A、90 W の場合)

省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。

水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。短時間のウォーム アップ後に通常の動作状態に戻ります。

省電力モードの設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください(省電力機能は、エナジー セーブ機能、パワー マネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります)。

 **注記：** このモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターの[Sleep Timer]（スリープタイマー）ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターの[Sleep Timer]ユーティリティによって省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

B ユーザー サポート

HP は、単体でも、または適切な他社製支援技術（AT）デバイスやアプリケーションと組み合わせることで、誰もがどこからでも使用できる製品、サービス、および情報を設計して製造し、お客様に提供することを目指しています。

HP とユーザー サポート

HP はダイバーシティ（人材の多様性）、インクルージョン（受容）、およびワーク ライフ バランスを会社を構成する基本と考えており、HP のあらゆる業務にこの考えが反映されています。HP は、世界中で人と技術力を結び付けることを重視した、すべての人が活躍できる環境作りを目指しています。

必要なテクノロジーツールの確認

テクノロジーは、人間の潜在能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

詳しくは、[34 ページの「最適な支援技術の確認」](#)を参照してください。

HP の取り組み

HP は、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスを提供できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、会社の目標であるダイバーシティを実現し、あらゆる人が確実にテクノロジーを活用できるようにするために役立ちます。

ユーザー サポートにおける HP の目標は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売することです。

目標達成のために、この HP ユーザー サポート ポリシーでは、HP の取り組みの指針となる 7 つの主要な目標が設定されています。HP のすべてのマネージャーおよび従業員は、自分の役割や責任に従ってこれらの目標とその実現をサポートするよう期待されます。

- 社内においてユーザー サポート問題への認識を高めて、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスの設計、製造、販売、および配送に必要なトレーニングを従業員に提供します。
- 製品やサービスに関するユーザー サポートのガイドラインを作成し、製品開発グループに対しては、競争力、技術、および経済性の観点から実現可能な範囲でガイドラインに従う責任を課します。
- お身体の不自由な方に、ユーザー サポートのガイドラインの作成、および製品やサービスの設計およびテストに参加していただきます。
- ユーザー サポート機能を文書化し、HP の製品やサービスに関する情報を、お身体の不自由な方にもご利用いただける形で一般に公開します。
- 最先端の支援技術および支援ソリューションのプロバイダーとの関係を築きます。

- HP の製品やサービスに関連する支援技術を向上させる社内および社外での研究開発をサポートします。
- ユーザー サポートに関する業界の標準やガイドラインを支持し、それらに貢献します。

IAAP (International Association of Accessibility Professionals)

IAAP は、人の交流、教育、および認定を通じてユーザー サポートに関する専門職の発展を目指す非営利団体です。ユーザー サポートの専門家のキャリア形成やキャリア アップを支援したり、企業がユーザー サポートを自社の製品やインフラストラクチャに組み込めるようにすることを目標としています。

設立メンバーとして、HP は他の企業と協力してユーザー サポートの分野を発展させるために加わりました。この取り組みは、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただける製品やサービスを設計、製造、販売するという HP のユーザー サポートの目標の達成を後押しします。

IAAP は、世界中の個人、学生、および組織を結び付け、お互いに学び合えるようにすることで、ユーザー サポート業務自体をも強めることにつながります。詳しい情報をお知りになりたい場合は、<http://www.accessibilityassociation.org/>（英語サイト）にアクセスして、オンライン コミュニティに参加したり、ニュースレターにサインアップしたり、メンバーシップの種類を確認したりしてください。

最適な支援技術の確認

お身体の不自由な方やご年配の方も含め、すべての人がテクノロジーを用いてコミュニケーションをとり、自己表現し、世界とつながりを持てるようになるべきだと HP は考えます。HP は、社内だけでなく、お客様やパートナーとともに、ユーザー サポートに関する意識の向上に努めています。目にやさしい大きいフォント、両手を休ませることができる音声認識、特定の状況で役立つその他の支援技術など、さまざまな支援技術が HP 製品の操作性を向上させるために利用されています。以下のセクションでは、支援技術や製品を選択する方法を説明します。

ご自身のニーズの評価

テクノロジーは、お客様の能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術 (AT) によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

お客様は多数の AT 製品から選択できます。AT の評価では、いくつかの製品を評価し、疑問点を解決し、状況に合った最善のソリューションを選択できるようにする必要があります。AT を評価する資格を持つ専門家の専門分野は多岐にわたり、理学療法、作業療法、音声言語病理学、およびその他の専門分野で免許や認定を取得した人が含まれます。ただし、認定や免許がなくても評価情報を提供できます。個人の経験、専門知識、および料金について尋ね、ご自身のニーズに合っているかを判断してください。

HP 製品のユーザー サポート

以下のリンクでは、各種の HP 製品に組み込まれているユーザー サポート機能および支援技術（該当する場合）について説明しています。状況に最も適した支援技術の機能や製品を選択するために役立ちます。

- [HP Elite x3 - ユーザー補助オプション \(Windows 10 Mobile\) \(英語サイト\)](#)
- [HP PC - アクセシビリティ オプション \(Windows 7\)](#)
- [HP PC - Windows 8 アクセシビリティ オプション](#)

- [HP パソコン – Windows 10 のアクセシビリティ オプション](#)
- [HP 7、Slate 7 タブレット – HP タブレット（Android 4.1/Jelly Bean 搭載）でのユーザー補助機能の有効化](#)
- [HP SlateBook PC – ユーザー補助機能を有効にする（Android 4.2、4.3/Jelly Bean）](#)
- [HP Chrome OS – HP Chromebook または Chromebox でユーザー補助機能をオンにする（Chrome OS）](#)
- [HP のショップ – HP 製品の周辺機器（英語サイト）](#)

HP 製品のユーザー サポート機能の他に追加のサポートも必要な場合は、[37 ページの「HP のサポート窓口へのお問い合わせ」](#)を参照してください。

追加の支援を提供できる外部のパートナーやサプライヤーへのリンクは以下のとおりです。

- [マイクロソフトのアクセシビリティへの取り組み（Windows 7、Windows 8、Windows 10、Microsoft® Office）](#)
- [Google ユーザー補助機能（Android、Chrome、Google アプリ）](#)
- [お困りの種類別に分類された支援技術（英語版）](#)
- [ATIA（Assistive Technology Industry Association）（英語版）](#)

標準および法令

世界各国では、お身体の不自由な方向けの製品やサービスを利用しやすくするための規則が制定されています。これらの規制は歴史的に、通信関連製品およびサービス、特定の通信や動画再生機能を備えたコンピューターおよびプリンター、またそれらに関連する取扱説明書やカスタマー サポートに適用されています。

標準

FAR（Federal Acquisition Regulation：連邦調達規則）に言及されている Rehabilitation Act の 508 条は、US Access Board によって、身体、知覚、または認知の障がいがある方が情報通信技術（ICT）にアクセスできることを明記するために策定されました。

この標準には、対象製品の機能に重点を置いた性能ベースの要件に加えて、各種テクノロジーに固有の技術基準が含まれています。固有の基準は、ソフトウェア アプリケーションおよびオペレーティングシステム、Web ベースの情報およびアプリケーション、コンピューター、電気通信関連の製品、動画やマルチメディア、および独立式の閉鎖型製品を対象とします。

Mandate 376 – EN 301 549（欧州連合向け）

The European Union created the EN 301 549 standard within Mandate 376 as an online toolkit for public procurement of ICT products. The standard specifies the accessibility requirements applicable to ICT products and services, with a description of the test procedures and evaluation methodology for each requirement.

WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）

W3C の WAI（Web Accessibility Initiative）によって公開された WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）は、Web の設計者や開発者が、お身体の不自由な方やご年齢の方のニーズに合ったサイトを作成するために役立ちます。

WCAG は、さまざまな Web コンテンツ（テキスト、画像、オーディオ、動画）および Web アプリケーションによってユーザー サポートを向上させるガイドラインです。WCAG は厳密にテストでき、理解や使用が容易で、Web 開発者が新しい発想を取り入れられるように柔軟性を持たせています。WCAG 2.0 は、[ISO/IEC 40500:2012](#) としても承認されました。

WCAG では特に、視覚、聴覚、身体、認知、神経の障がいがある方やサポートを必要とするご年配の Web ユーザーが Web 利用時に直面する障壁に対応しています。WCAG 2.0 にはお身体の不自由な方でも利用しやすいコンテンツの特徴が明記されています。

- **知覚可能**（画像のテキストによる代替、オーディオのキャプション、提供方法への適応性、色のコントラストなど）
- **操作可能**（キーボード操作、色のコントラスト、タイミング調整、発作の防止、ナビゲーション可能）
- **理解可能**（読みやすさ、予測可能性、入力支援など）
- **堅牢性**（支援技術との互換性など）


法令および規制

IT および情報のユーザー サポートは、法的な重要性が高まりつつある分野になってきました。これらのリンクから、主要な法令、規制、および標準に関する情報を確認できます（英語のみ）。

- [United States（米国向け）](#)
- [Canada（カナダ向け）](#)
- [Europe（欧州向け）](#)
- [Australia（オーストラリア向け）](#)
- [全世界](#)

ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク

以下の組織から、障がいや年齢による身体的制限に関する適切な情報を得られる場合があります。

 **注記：** この一覧に記載されている組織がすべてではありません。これらの組織は、情報提供のみを目的として記載されています。インターネットで確認された情報または連絡先について HP は一切の責任を負わないものとします。このページの一覧は、HP による推奨を示すものではありません。

組織（英語のみ）

これらの組織は、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供する多くの組織の一部です。

- AAPD（American Association of People with Disabilities）
- ATAP（Association of Assistive Technology Act Programs）
- HLAA（Hearing Loss Association of America）
- ITTATC（Information Technology Technical Assistance and Training Center）
- Lighthouse International
- National Association of the Deaf

- National Federation of the Blind
- RESNA (Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America)
- TDI (Telecommunications for the Deaf and Hard of Hearing, Inc.)
- W3C WAI (Web Accessibility Initiative)

教育機関（英語のみ）

これらの例を含む多くの教育機関が、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供しています。

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、Center on Disabilities
- ウィスコンシン大学マディソン校、Trace Center
- ミネソタ大学、Computer Accommodations Program

障がいに関するその他のリソース（英語のみ）

これらの例を含む多くのリソースが、障がいや年齢による身体的制限に関する情報を提供しています。

- ADA (Americans with Disabilities Act) Technical Assistance Program
- ILO Global Business and Disability Network
- EnableMart
- European Disability Forum (欧州障害フォーラム)
- Job Accommodation Network
- Microsoft Enable

HP のリンク

これらの HP 固有のリンクでは、障がいや年齢による身体的制限に関する情報が提供されます。

[お問い合わせの Web フォーム（英語サイト）](#)

[HP の『快適に使用していただくために』（言語を選択してください）](#)

[HP の公的機関への販売（米国向け）](#)

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。日本でのお問い合わせ先またはサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> または <https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。説明に沿ってお使いの製品を探します。